

竹島問題と尖閣列島問題

2010.10.24 (於松江)

拓殖大学下條正男

1. 竹島問題と尖閣列島問題の類似性

- (1) 歴史的事実として日本の固有領土
- (2) 無主の地・先占
- (3) 日本国内からの異論・反論・異論家たち
 - ① 竹島問題→内藤正中氏 (島根大学名誉教授)・朴炳涉氏 (啓明大学校)
 - ② 尖閣問題→井上清氏 (京都大学教授)・村田忠禧氏 (横浜国立大学)
- (4) 日本の異論家たちの主張は、韓国/中国・台湾にとって奇貨
 - ① 韓国側の理論的根拠
 - ② 中国・台湾側の理論的根拠

2. 尖閣列島問題と竹島問題

- (1) 楊仲揆氏の主張 (台湾・中央日報 1970年8月22日付「尖閣列島問題」)。『順風相送』(1403年)・陳侃『使琉球録』(1534年)・郭汝霖『重刻使琉球録』(1561年)等を根拠に**釣魚島は琉球領に非ず**。
- (2) 井上清氏、楊仲揆氏説を踏襲「尖閣列島-釣魚諸島の史的解明」(1972年10月9日)現代評論社刊。
「釣魚諸島 (尖閣列島等) の歴史と帰属問題」(「歴史学研究」72年2月号)
「釣魚諸島 (尖閣列島など) は中国領である」(「日中文化交流」2月号)
- (3) 周恩来首相と公明党竹入義勝委員長会談 (1972年7月28日) (井上説を紹介)
- (4) 2010年9月15日、中国 CCTV、外交部姜瑜報道官 (井上説を紹介)
- (5) 亜洲週刊 9/26号、「韓国奪回独島風雲録」→韓国の対日強硬対応策をモデル
- (6) 新華社報道 (10月6日)、「独島：阻滯 ‘韓日新時代’発展」
- (7) **釣魚島は清朝領に非ず**。歴史事実→尖閣列島は**無主の地**

3. 諸悪の根源は、竹島問題の放置にある。

- (1) 尖閣列島問題の根底に、韓国による対日強硬策・懐柔工作がモデル。
「日本から韓国が独島を奪還した貴重な経験を学べば釣魚島回復も夢でない」
- (2) メドベージェフ大統領 9月25日、9月2日を「対日戦勝記念日」とする。
- (3) メドベージェフ大統領 9月26日、中国訪問。胡錦濤主席と27日、「中ロ両国元首による「第二次世界大戦集結65年に関する共同声明」発表
- (4) 北方領土問題と韓国 (韓国政府とロシア政府の連携)
- (5) 日本は「四面楚歌」(チャイナネット/10月9日配信)
- (6) 実際は、竹島問題解決の好機 (一網打尽)